

## 令和5年度近畿地区樹木医公開講演会報告書

### 1 概要

日時：令和5年12月2日(土) 13:00-16:30

場所：兵庫県中央労働センター 小ホール (神戸市中央区)

主催：(一社)日本樹木医会近畿地区協議会 (事務局 兵庫県支部)

共催：兵庫県外来生物対策協議会

後援：神戸市、明石市、西宮市、芦屋市、公益財団法人神戸市公園緑化協会、  
一般社団法人神戸市造園協力会、一般財団法人日本造園修景協会兵庫県支部

参加者：68名 (講師等含む、樹木医28名・一般40名)

### 2 内容ほか

#### (1) タイトル：クビアカツヤカミキリの被害拡大と防除対策を考える

- ねらい：・クビアカの生態や生息環境等を理解する  
・各地の被害状況や被害拡大状況を知る  
・防除対策や防除法を知り、課題を共有する  
・市民や社会への発信を考える

#### (2) 内容

##### ① 基調講演 13:10-14:10

「クビアカツヤカミキリの生態、分布拡大およびその対策」田村 繁明

国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所 森林昆虫研究領域 昆虫生態研究室

##### ② 事例報告 14:20-15:20

- ・大阪府の被害と対策 木村 仁 堺市役所 (日本樹木医会 京都府支部)
- ・兵庫県での対応 宗實 久義 (日本樹木医会 兵庫県支部)

##### ③ パネルディスカッション 15:30-16:30

(パネラー)

田村 繁明 (国研) 森林研究・整備機構 森林総合研究所森林昆虫研究領域

→被害を抑えている地域では、地域住民が防除活動に取り組んでいる。

藤田 裕一郎 兵庫県環境部自然鳥獣共生課 副課長

→クビアカ対策に関わらず、外来生物(他のカミキリやアリや動物など)対策に、行政だけでは対応できない。専門家に委ねる部分が多い。

木村 仁 堺市役所 (日本樹木医会 京都府支部)

→被害拡大は地区ごと異なる。激害地域であっても、専門家が頑張っている地区は抑えることができている。

藤原 隆之 西宮市役所土木局公園緑化部 部長

→市民を巻き込んだ対策が必要。早期発見、初期防除に徹底的に対応していくつもり。

宗實 久義 日本樹木医会 兵庫県支部

→箇所ごとに、時期ごとに、被害程度ごとそれぞれ対策が異なる。正確な被害状況の把握と的確な防除対策が必要。それぞれの防除法の長所・短所を把握し、対応していく必要あり。

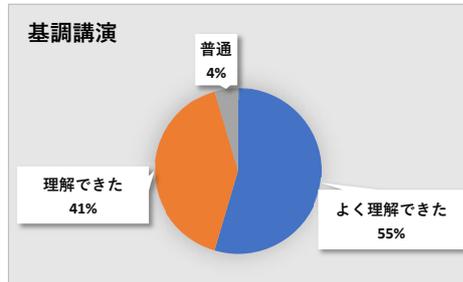
(コーディネーター)

伊達 寛 日本樹木医会兵庫県支部

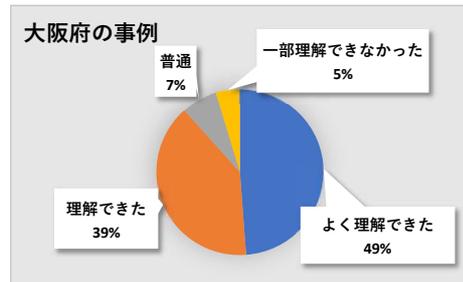
## アンケート結果

### 理解度

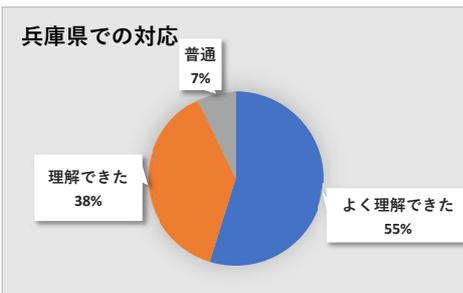
### 主な感想・意見



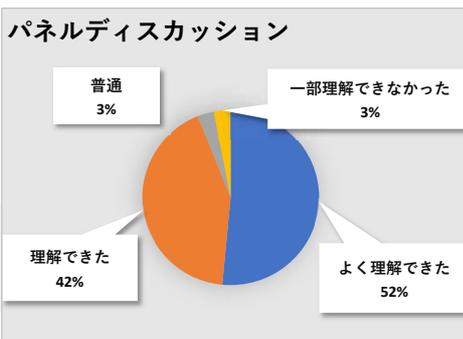
被害状況や生態は知っていたが、防除法が複数あることが知れてよかった  
被害木の密度ごとにゾーン分けして防除、モニタリングする考え方が参考になった  
(クビアカの)一生のサイクルがよかった  
基礎的な情報を中心に、新しい情報が少なかったが、知りたいことが開けた。  
首の赤い所の特記が他の虫との違いであることが知れたのでよかった。  
浅い知識だったので、聞けて非常に勉強になった。個人的にも知識を深めるものと思った。  
分かりやすい講義で全体像が理解出来ました。



様々な防除策、参考になった。  
具体的な話と実情がわかった。  
ネット、薬剤の処理について、試行検証されていた点が参考になった。  
具体的な工夫をされている様子がよくわかった。  
いろいろ対策を実験されていることが興味深かった。  
様々な工夫を凝らした活動に驚きの連続だった  
説明がよくわからなかった、聞き取りにくかった。



市民への認知が大事、1人でも多くの市民を巻き込み、啓発を進めるのが大事を感じた  
トリアージの考え方が参考になった  
資料配布があつてわかりやすかった  
説明がよく理解できた。  
このまま防除啓発に力を入れて欲しい。  
あと少し時間的余裕のある講義を希望します。



ストレートな意見が開けてよかった  
(樹木医の)社会的使命という強い言葉に感銘を受けました。

### その他全体を通しての主な感想・意見

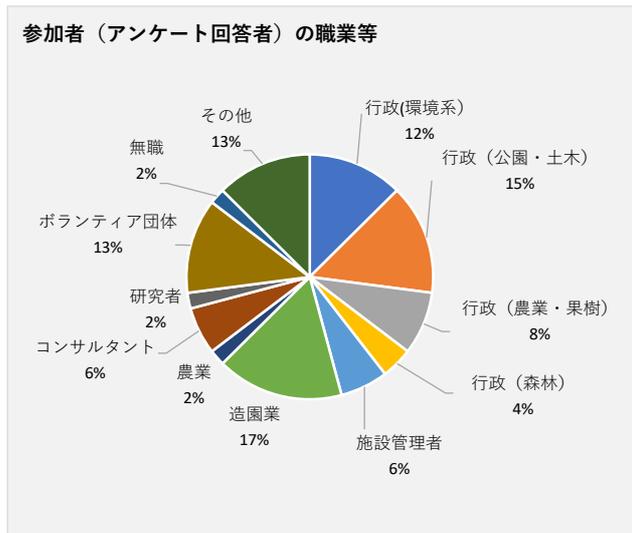
全体をとおして学びの多い講演会だった。今後勉強を深め、住んでいるところが未発見のため、被害が出ない、広げないように注意していきたい。  
このタイミングでクビアカに絞った講演会は良かった。兵庫県支部の熱心さが伝わってきた。  
行政、樹木医、ボランティア、市民が力を合わせていくことの必要性がよく理解できた。これからの活動に今回学んだことを活かしていきたい。  
クビアカの被害の重大さを改めて実感する講演会だった。本日の資料をデータでも送付してほしい。  
行政、専門家、一般市民の方々、みんなが協力して取り組んでいかなければ、クビアカ被害を押さえていくことは困難であると改めて感じました。  
被害木の伐採後の処理に課題が多いように思う。処理後の管理があまく、被害を拡大させていると思う。  
参考になることが多かったです、ありがとうございました。  
クビアカの生態や薬剤等の対応、散布の実例を知ることができ非常に参考になった。  
わかりやすく参考になった  
伐倒後の被害木の管理(処理)の重要性を感じた  
たいへんよかったです。  
平日に開催してもらおうと、業務として参加する職員が多くなり、学べる機会が多くなる。(行政(公園・土木))

## 参加者の内訳及び樹木医への意見

### 参加者のうちアンケート回答者(44名)の職業等

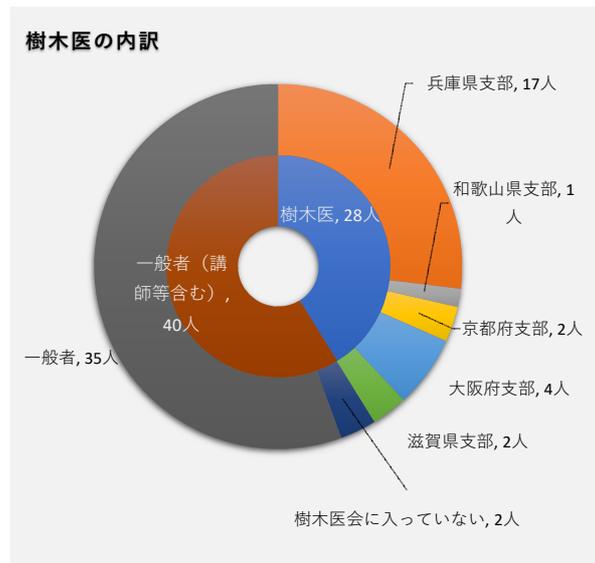
行政(環境系)	6人
行政(公園・土木)	7人
行政(農業・果樹)	4人
行政(森林)	2人
施設管理者	3人
造園業	8人
農業	1人
コンサルタント	3人
研究者	1人
ボランティア団体	6人
無職	1人
その他	6人
計	48人

※複数回答のため計が合わない



### 参加者のうち樹木医の内訳(全58名)

樹木医	28人
兵庫県支部	17人
和歌山県支部	1人
京都府支部	2人
大阪府支部	4人
滋賀県支部	2人
樹木医会に入っていない	2人
一般者(講師等含む)	40人
計	68人



### 樹木医に対して(アンケート回答者から)

#### 期待すること

樹木診断や治療	11人
樹木関連の技術指導	14人
樹木関連技術の普及啓	13人
環境教育	10人
計	48人

※複数回答のため計が合わない

#### その他意見

樹木医が何をしているのか知らないなので、知る機会があればありがたい。  
 簡単に依頼できるスキームづくりをしてほしい(行政(公園・土木))  
 ツヤハダゴマダラカミキリ対策もお願いします。  
 クビアカやツヤハダゴマダラが発見された時の診断や対策の提案、またその治療等トータルで依頼したい。  
 一般市民への普及啓発をさらに多くしてほしい  
 倒木や枝折れの可能性の事前診断、行政担当者への技術指導



基調講演（田村研究員）



大阪府の被害と対策（木村樹木医）



兵庫県での対応（宗實樹木医）



パネルディスカッション



会場前の様子



展示等の展示